



2023 年目標

経済学

徹底演習

TAC 不動産鑑定士講座

第1章 択一形式の問題演習と答練

本講座は、

例題を自力で解いてみる→解説を見て、聞いて確認する→自分の理解度に応じて復習という流れで進めていきます。計算や数学の部分でつまるところであれば、「経済数学入門テキスト」の該当箇所を再度確認しましょう。ミクロ経済学やマクロ経済学の部分でつまるところであれば、「基本テキスト」の該当箇所を復習しましょう。計算問題であっても、図を常に意識して解いていきましょう。すらすら解けるので、もっと問題数をこなしたい、という場合には、本冊子末尾に掲載してある参考文献を活用してみてください。

例題 1

価格支配力を持ち、平均費用の逓減が著しい、ある独占企業について、この企業の生産物に対する逆需要関数 $p(x)$ 、費用関数 $C(x)$ がそれぞれ、

$$p(x) = 500 - x$$

$$C(x) = 100x + 30000$$

で示されているとする (x : 生産量)。

この企業が利潤を最大化した場合の価格を p_A 、政府からの限界費用価格規制を受けた場合の価格を p_B とすると、 p_A と p_B の関係に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

- ① p_A の方が p_B より 250 小さい。
- ② p_A の方が p_B より 200 小さい。
- ③ p_A の方が p_B より 200 大きい。
- ④ p_A の方が p_B より 250 大きい。
- ⑤ p_A と p_B は同じ大きさである。

【国家一般職 2021】



解答に際して知っておくべき基礎知識

<数学> → 「経済数学入門テキスト」参照

分数、一次方程式、一次関数、連立方程式、面積の求め方、二次方程式、微分

<ミクロ経済学> → 「基本テキスト」参照

- ・ 独占企業の行動原理
- ・ 独占の弊害
- ・ 費用逓減産業
- ・ 限界費用価格規制、平均費用価格規制の特長、問題点